

式 辞

「波ひかる鴨の河原辺、陽は踊り風もうららか、・・・花咲き香る」と本校のスクールソングに歌われるように、命あるものすべてが躍動する春爛漫の時を迎えた本日、京都府立鴨沂高等学校平成28年度入学式を挙行いたしましたところ、御多用の中を、多数の御来賓の御臨席を賜りましたことを、厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

ただ今、入学を許可いたしました240名の皆さん、入学おめでとう。私たち教職員一同は、今日から本校生徒となる皆さんを、心から歓迎します。

また、御列席の保護者の皆様におかれましては、これまでお子様を慈しみ育てこられた御労苦に対し、敬意を表しますとともに、御入学を心からお祝い申し上げます。

いよいよ3年間の本校での高校生活が始まります。今の皆さんの心は、入学の喜びと高校生活への期待で大きく膨らんでいることでしょう。どうか、一日も早く本校での生活に馴染んでくれることを願っています。

本校の歴史は、明治5年に創設された「新英学校及び女紅場」という名の、我が国最初の女学校に始まります。大河ドラマ「八重の桜」の主人公、新島八重さんは、本校創設時に職員として活躍され、我が国の近代女子教育の発展に貢献された方です。その後は「府一」という愛称で親しまれ、今年の連続テレビ小説「あさが来た」のモデルとなった広岡浅子さんの娘が通った学校でもあります。そして、戦後の学制改革により男女共学の鴨沂高等学校となりました。「鴨沂」とは、京都の中心を流れる鴨川のほとりにある学校という意味です。昭和の時代には、勉学においては、東の日比谷・西の鴨沂と並び称される進路実績を誇り、スポーツでは多数のオリンピック選手を輩出した水球の活躍など、文武両面において、社会に多数の有為な人材を輩出してきた、今年で創設から144年を数える我が国有数の歴史と伝統を誇る学校です。

平成となってからは、定員割れが続いて低迷する時期がありましたが、近年は、伝統校復活を目指して学校改革に取り組んでいるところです。制服を導入し、土曜授業や京都文化コースを設けるなど、新しい教育内容を展開しています。そして、高校に入ってから力を伸ばすことを重視し、今春卒業した先輩たちは、見事に改革の成果を出してくれました。残念ながら、新校舎建設が遅れることになりましたが、平成30年完成を目指していよいよ建設段階に入り、形が見えるようになってきます。

京都府の入試制度改革が3年目を迎え、皆さんを含めて、生徒全員が自らの意志で本校を選んで入学したことになります。自らの意志とはいえ、かつての低迷期の印象から、鴨

沂へ行けば楽ができると考えている人がいるとすれば、即刻認識を改めてもらいたいと思います。今の鴨沂は、あらゆる面で数年前までの鴨沂とは違っています。

本校の教育方針は、「世界平和を希求し、すべての人々が幸福になりうる社会をめざして、事実に基づいて真理を追究し、それに従って実践しようと努力する人間をつくる。」と定められています。これは、戦後の高校創立以来、現在に至るまで継承されてきた不易なる鴨沂の精神と言うべきものです。伝統校復活を目指して学校改革を進める今、その精神を受け継ぐべき者としての心の有り様を示すため、私は毎年の入学式で、次のように問いかけることにしています。

皆さんには、将来こんな人間になりたいという、はっきりとした目標や夢があるか？
何事にも果敢にチャレンジする強い志を持っているか？ 自分だけにしかない確かな個性といえるものがあるか？ そして、世のため人のために力を尽くす覚悟があるか？ と。

理想的な高校生活というのは、勉強と部活動を両立させながら仲間との友情を育み、より高い進路目標を達成して卒業することだと思います。それを実現した先に、本校の教育方針が掲げる理想の人間像が形成されるのだと思います。

皆さんには無限の可能性があります。これからの高校生活を通して、将来への展望を持ち、たくさんの友と交わり、授業や部活動にしっかりと取り組み、知力・体力・人間力を鍛え続けてほしい。そして、歴史と伝統を誇る本校の生徒として自信と誇りを持ち、崇高な鴨沂の精神を継承するとともに、本校の新しい時代を切り拓いてほしいと思います。

保護者の皆様、本日から大切なお子様をお預かりするわけですが、教職員一同、お子様が、安心・安全でのびのびと成長できる教育環境を整え、一人一人をしっかりと伸ばし、よりよい方向に導くとともに、本校ならではの特色ある学校づくりに邁進する所存でございます。

しかしながら、変化の激しい今日の社会情勢にあっては、教育は高校だけでできるものではありません。地域、関係機関をはじめとして、社会総がかりで教育にあたらなければ立ち行かない時代です。何よりも、保護者の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、本日御列席の皆様、本校教育の充実・発展のため、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願いを申し上げ、式辞といたします。

平成28年4月8日

京都府立鴨沂高等学校

校長 藤 井 直